君津市地域おこし協力隊活動報告

隊員名：深山 雅弘
指名日：令和４年１１月１０日

活動月	令和６年 １月
主な活動内容	**1.「移住・交流&地域おこしフェア 2024」に参加しました** **2. 清和のランドマーク「おらがわ」がオープン！** **3. 君津市のコミュニティナース活動を視察**

1.「移住・交流＆地域おこしフェア 2024」に参加しました

東京ビッグサイトで開催された「移住・交流&地域おこしフェア 2024」に君津市として参加しました。全国から約 300 の自治体が集まった日本最大の移住イベント、私は昨年に引き続き 2 回目の参加です。

君津市ブースに立ち寄ってくださった特典として、ネットで公開していない非公開空き家物件をご紹介しようとタブレットに仕込み、勇んで持ち込んだのですが、残念ながら空き家に関心ある方は訪れずじまい。しかし、移住先を探されているたくさんの方に、先輩移住者の立場から君津暮らしの説明ができ、たいへん充実した１日でした。

移住・交流&地域おこしフェア 2024
https://www.iju-join.jp/feature_cont/file/120/

2. 清和のランドマーク「おらがわ」がオープン！

人口減少により廃校となった旧秋元小学校を複合施設として蘇らせるプロジェクト、1 年余りに渡る工事が完了し 2024 年 1 月「おらがわ」という愛称をつけ開館しました。ついに地域の皆さんが心待ちにしていた清和のランドマークがオープンです。

公民館や市民センターといった行政施設をはじめ、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ清和こども園、ビジネス支援のためのレンタルオフィスやコワーキングスペースがコンプレックスされています。

1 月 14 日（日）には開館記念式典と「第 51 回 清和地区文化祭」が開催されました。コミュニティ清和では、日々の活動のブース展示の他、毎度おなじみのトラック市の出店や清和の民話紙芝居の実演、連携団体による「君津の朝めし～羽釜でご飯を炊いて食べよう」お試しイベントなど、盛りだくさんの内容でした。

たくさんの人で賑わう「おらがわ」の隣では、ドローンによる新スマート物流の実証実験が行われました。「清和地区に住む子どもが風邪をひいてしまったが、お母さんが買い物に出かけられない状況なのでドローンによる買い物代行配送サービスを利用した」という想定です。

地域おこし
君津市
協力隊

急遽「君津の朝めし」で炊いた握りたておにぎりも搭載。無事ホカホカのうちにお届けすることができましたよ～。実験で終わらせずに早く運用されるようになるといいですね、どんどん便利になっていきます。

むらをつくる。むらをまもる。いつまでも。- コミュニティ清和
https://seiwa-town.com/

3. 君津市のコミュニティナース活動を視察

「コミュニティナース」という言葉を聞いたことありますか？ 病院や訪問看護は「病気になった人」を対象とするのに対して、コミュニティナースは病気なのかどうかは関係なく、地域で生活する人を対象に活動するものです。日常的に住民と接することにより、普段から健康意識を高めるアプローチや、病気の早期発見、医療や福祉、行政機関への橋渡しなどを行います。

ここ君津市でコミュニティナース活動をしている現役看護師の岩舘さんの現場を視察してきました。

それなら「地域包括支援センターがあるじゃないか」と言う人もいます。地域包括のケアマネージャーに相談し、介護認定を受ければ様々な公的なサービスを受けられます。でもそれは介護が必要になったときのこと。今は元気な高齢者でも心配事はあるんです。

いざ自分が具合悪くなった時にどうやって病院にかかったらいいんだろうか？　今は具合悪くないけど心配事があるので誰かに話を聞いてもらいたい。介護認定されることに抵抗感を持たれている方もいらっしゃいます。

健康を維持するために頻繁に病院通いしたくとも、君津市は首都圏じゃないので病院の数は少ないです。高齢化が進んでいるのでいつも混んでる。さらに移動のための公共交通機関がさびしいので、どうしても足が遠のいてしまいます。岩舘さんたちは、そのような地域の高齢者のために、その地域に出向いて健康相談にのる『まちの保健室』という活動を行っています。

岩舘さんたちの活動は医療行為ではありません。地域高齢者のウェルビーイングを保つお手伝いが目的。免許返納して車が運転できなくなった高齢者は家にこもって人と話す機会が少なくなる。そうすると生きる活力が弱くなり体まで悪くなってしまいがちですね。自らが地域に出向いて定期的に『まちの保健室』を開設し、地域の高齢者の健康と心の相談にの

る。過疎地域ではもっとも必要とされていることではないでしょうか？ 僕は応援したいですね。現在は月に１回、君津地区の外箕輪青年館で『まちの保健室』を開設しています。現役看護師のボランティア活動です。場所を提供してくれればどこにでも出向いてくれるということですので、興味を持たれた方は相談されてみてはいかがでしょうか？

まちの保健室
https://kimicomm.com/lcc/

コミュニティナースとは：
日常的に街のなかや暮らしのなかに存在して、人々が楽しいと感じたり元気になったりすることを応援する、医療や看護の知識・技術をもった人。特定の資格や職業を表すものではなく、地域コミュニティにおける看護のあり方を指す概念であるのが特徴。
『人とつながり、まちを元気にする』コミュニティナースは、職業や資格ではなく実践のあり方であり、「コミュニティナーシング」という看護の実践からヒントを得たコンセプト。地域の人の暮らしの身近な存在として『毎日の嬉しいや楽しい』を一緒につくり、『心と身体の健康と安心』を実現する。その人ならではの専門性を活かしながら、地域の人や異なる専門性を持った人とともに中長期な視点で自由で多様なケアを実践する。
実践の中身や方法はそれぞれの形があり、100 人 100 通りの多様な形で社会にひろがり始めている。（ウィキペディアより転載）

地域おこし
君津市
協力隊